

令和6年度JRA畜産振興事業に関する調査研究発表会

# 家畜疾病・自然災害緊急支援体制推進事業 の推進について

～令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績を中心として～

家畜疾病・自然災害緊急支援体制推進事業

畜産経営支援協議会 事務局

公益社団法人 中央畜産会 衛生指導部 主幹 立崎 昌子

# 発表内容

- 1 事業の概要
- 2 地震以前の備蓄資材の活用実績  
(平成30年度～令和4年度)
- 3 令和6年能登半島地震被災地における  
備蓄資材活用実績
- 4 今後の事業推進に当たっての課題
- 5 まとめ (円滑な事業推進のポイント)

# 1 事業の概要

(1) 事業の目的

(2) 事業の内容

① 実施期間

② 実施主体

③ 事業費（令和6～8年度：3年分）

(3) 備蓄資材の保管・管理・使用

① 保管場所

② 備蓄資材の管理

③ 備蓄資材使用の流れ

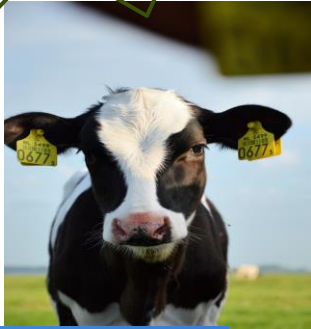
# 1 事業の概要

## (1) 事業の目的

### 発生地・被災地における初動対応

家畜疾病発生

口蹄疫



豚熱



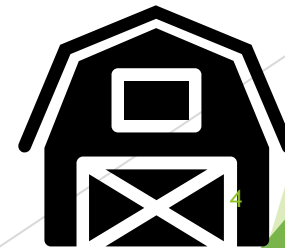
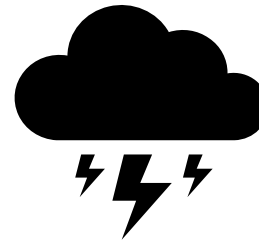
鳥インフルエンザ等



現地への  
緊急用機材・資材の搬出

自然災害発生

台風・地震等



# 1 事業の概要

## (2) 事業の内容

### ① 実施期間

平成29年度、平成30～令和2年度、令和3～5年度、  
令和6～8年度

### ② 実施主体

畜産経営支援協議会（事務局：公益社団法人中央畜産会）

### ③ 事業費（令和6～8年度：3年分）

- ・ 推進委員会開催等事業（事業の検討・評価等）
- ・ 緊急支援推進事業（備蓄資材の保管・管理等）
- ・ 緊急支援体制整備事業（備蓄資材の補充・更新等）

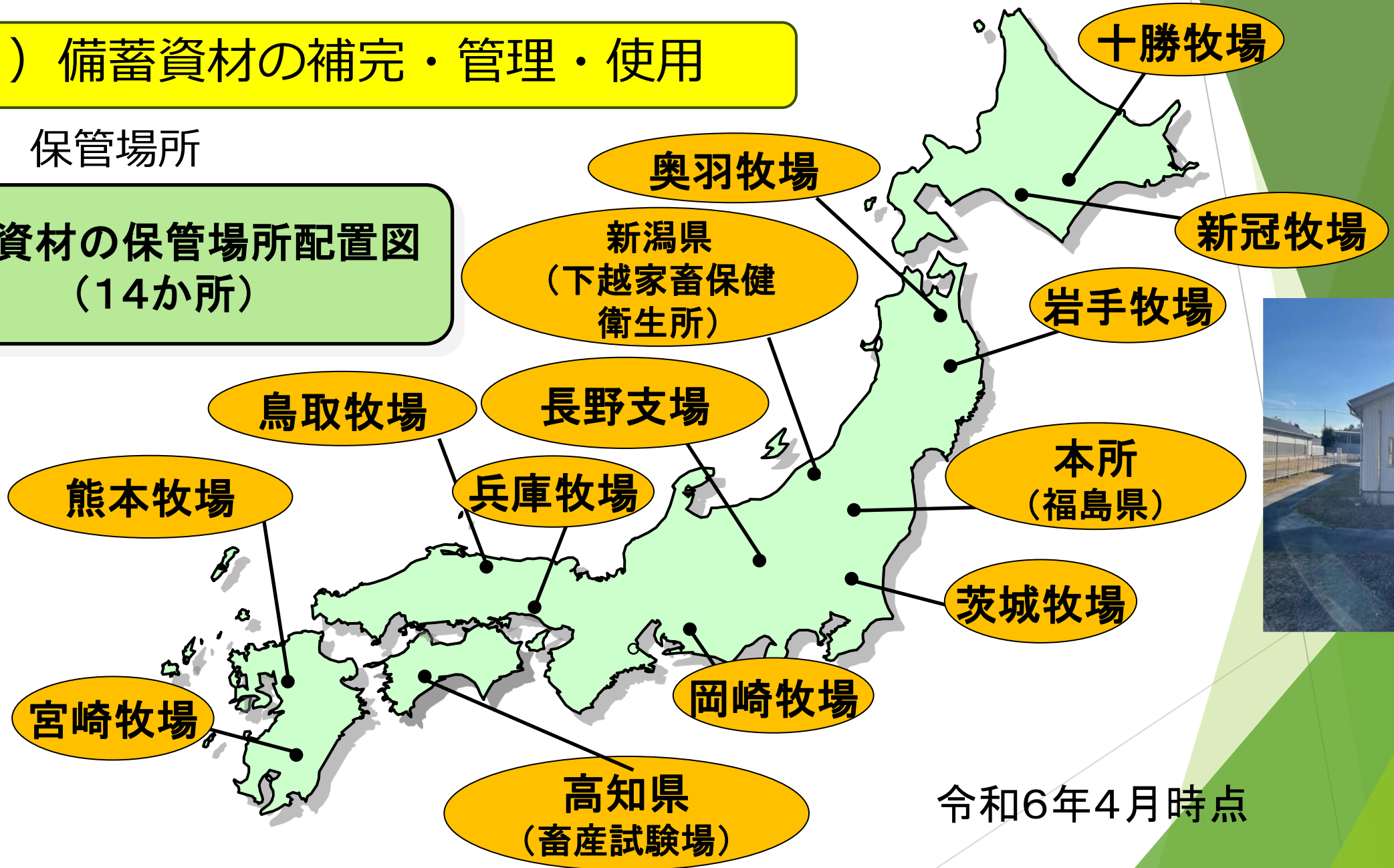
合計：66,588,000円

# 1 事業の概要

## (3) 備蓄資材の補完・管理・使用

### ① 保管場所

#### 備蓄資材の保管場所配置図 (14か所)



令和6年4月時点

# 1 事業の概要

## (3) 備蓄資材の保管・管理・使用

### ② 備蓄資材の管理：保管場所における管理

- ・ 注意義務下で保管
- ・ 保管料は無料
- ・ 保管場所が搬出の手配を実施
- ・ 運送費等は協議会が負担

# 1 事業の概要

## (3) 備蓄資材の保管・管理・使用

### ② 備蓄資材の管理：備蓄資材リスト

<機材>

	区分	規格等	数量	単位
1	発電機	単相/三相兼用 5.0~6.0KVA) R6.3.補充	5	台
	発電機	単相5.5KVA	15	台
	発電機	単相2.5KVA	9	台
2	動力噴霧器		12	台
3	投光器		23	台
4	アルミラダー	1.8m	6	台
5	スノーホーン		12	台
6	石灰散布機		11	台



# <資材 I >

	区分	規格等	数量	単位
1	着替用テント	320×340×215mm	60	張
2	トイレ用テント	110×110×H188	30	張
3	簡易トイレ	335×320×H415	30	個
4	手動噴霧器	10 L	50	個
5	水タンク	500L R6.3.補充	78	個
6	水槽	200L	35	個
7	緊急キット	救急セット	18	式
8	修理用工具	工具セット	18	式
9	豚保定用ワイヤー		220	式
10	手術用前掛け		55	着
11	トランシーバー	防水、防塵設計特定小電力無線機	43	台
12	一輪車		12	台
13	パレット	プラスチックパレット 1100×1100×125mm	240	個
14	物品棚	ボルトレスラック W1800*D600*H1800mm 4段 耐荷重300kg	70	台

## <資材Ⅱ>

	区分	規格等	数量	単位
15	頭絡		6500	本
16	安全ヘルメット	折りたたみヘルメット	2650	個
17	ゴーグル		1350	個
18	使い捨てマスク	個別包装 20枚入	1400	枚
19	使い捨て防護服	タイベック L、XL	3640	枚
20	暑熱対策用冷却ファン付タイベックベスト		28	式
21	安全長靴	鋼製先芯24.0～28.0cm	1320	足
22	手袋	100枚入 M、L、LL	8440	箱
23	防寒着	ナイロン100%	3930	点
24	タオル		35200	枚
25	下着	男性用、女性用Tシャツ、ブリーフ、ショーツ L、LL	8400	枚
26	おむつ	M-L 男女共用 9枚/袋	700	袋
27	ロープ	8mm 50m巻	140	巻
28	合羽	上下組 ポリエステル100% S、M、L、LL	3930	着
29	サンダル	ゴム製 M、L、LL	2650	足

## <資材Ⅲ>

区分	規格等	在庫数量	単位
30	消石灰 20kg／袋	1100	袋
31	消毒薬 アルサワー17L (一斗缶タイプ)	42	缶
32	バケツ 13L	1300	個
33	綿花 脱脂綿 500g／袋 紙包装	280	袋
34	コンテナ 折りたたみコンテナ フタ付 透明 530*366*281mm	420	個
35	ビニール袋 レジ袋	28000	枚
36	キムタオル 50枚／袋	390	袋
37	粘着テープ クラフト粘着テープ 幅50mm	420	巻
38	カラースプレー カラースプレー 赤 300ml	420	本
39	ブルーシート ブルーシート 5.4×7.2m	620	枚
40	ペーパータオル 200枚／袋	420	袋
41	ビニールシート PEシート 1800mm*100m 0.1t	140	巻
42	トイレ用袋 緊急対策用トイレ ベンリー袋5回分セット	2100	袋
43	マジックインキ マジックインキ 黒 太字 6本／パック	70	パック

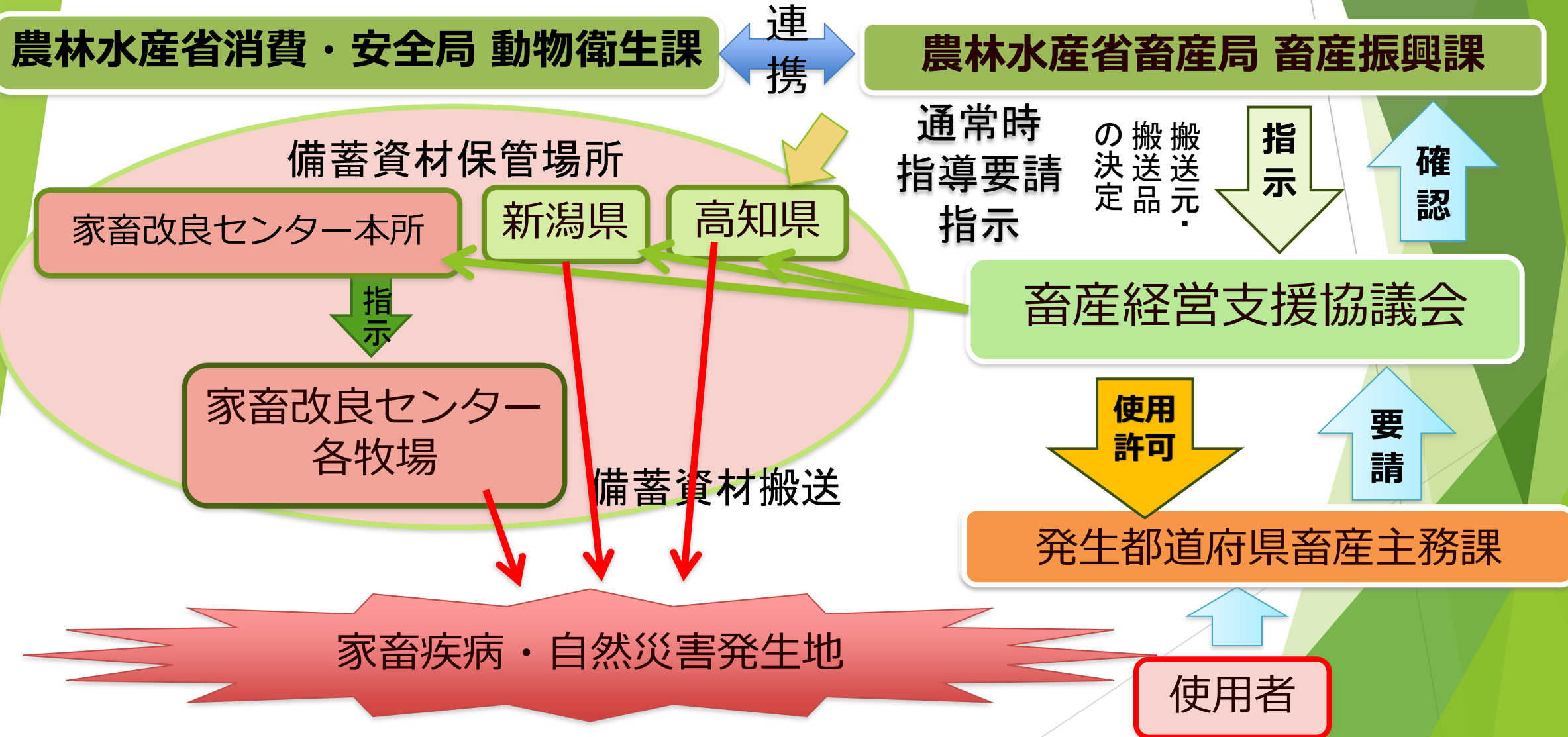
## <資材Ⅳ>

	区分	規格等	在庫数量	単位
44	ガソリン缶	20L R6.3.補充	45	缶
45	密閉ペール	丸型 90L 本体・蓋	140	個
46	フレコンバッグ	500L Φ1100×550mm	420	枚
47	コンパネ	1,800×900×12mm	260	枚
48	不凍液	ウォッシャー液 -30℃対応 2L	90	本
49	針金	スチール針金 1.2mm×25m	140	巻
50	鎌	両刃中厚鎌	42	個
51	スコップ	丸型 (シャベル)	140	本
52	ちりとり		140	個
53	竹ぼうき		140	本

# 1 事業の概要

## (3) 備蓄資材の保管・管理・使用

### ③ 備蓄資材使用の流れ



## 2 地震以前の備蓄資材の活用実績 (平成30年度～令和4年度)

- (1) 豚熱
- (2) 高病原性鳥インフルエンザ
- (3) 地震
- (4) 豪雨災害

# 2 地震以前の備蓄資材の活用実績 (平成30年度～令和4年度)

(1) 豚熱

平成30年12月 岐阜県

動力噴霧器 (6)、石灰散布機 (3)、水タンク (8)、ブルーシート (400)、不凍液 (20)



動力噴霧器



石灰散布機



水タンク  
ブルーシート  
消石灰

平成31年2月 愛知県

発電機 (6)、消石灰 (1,200)



発電機

令和2年9月 群馬県

投光器 (3)



投光器



## 2 地震以前の備蓄資材の活用実績 (平成30年度～令和4年度)

### (2) 高病原性鳥インフルエンザ

令和2年11月 香川県

フレコンバッグ (250)、密閉ペール (70)



フレコンバッグ、  
消石灰



密閉ペール

令和4年 新潟県

石灰散布機 (1)、消石灰 (100)



石灰散布機



## 2 地震以前の備蓄資材の活用実績 (平成30年度～令和4年度)

### (3) 地震



発電機

平成30年9月 北海道胆振東部地震

発電機 (36)、水タンク (20)、使い捨てマスク (30)、  
使い捨て手袋 (1,200)、防寒着 (600)、タオル (1,200)、  
下着 (2,800)、ビニール袋 (200)、ブルーシート (200)、  
ペーパータオル (80)、ビニールシート (20)、サンダル (400)、



# 2 地震以前の備蓄資材活用実績 (平成30年度～令和4年度)

## (4) 豪雨水害

令和2年7月 熊本豪雨災害



安全ヘルメット (20)、使い捨てマスク (20)、使い捨て防護服 (50)、冷却ファン付きタイペック (30)、安全長靴 (50)、タオル (2,000)、下着 (1,200)、おむつ (50)、ロープ (30)、合羽 (230)、バケツ (30)、消石灰 (600)、綿花 (10)、コンテナ (100)、粘着テープ (10)、カラスプレー (10)、ブルーシート (30)、ビニールシート (2)、マジックインク (100)、サンダル (60)、コンパネ (30)、フレコンバッグ (30)、ガソリン缶 (20)、スコップ (10)、ちりとり (30)、竹ぼうき (30)、パレット (40)



# 3 令和6年能登半島地震被災地における 備蓄資材活用実績

- (1) 地震の概要
- (2) 石川県との連絡調整
  - 窓口の一本化・迅速な連絡
- (3) 備蓄資材の搬出実績
  - 全国10か所から一斉に搬出
- (4) 保管場所の対応
  - 輸送手段の確保・迅速な搬出
- (5) 受入側の対応
  - 受入拠点の確保・迅速な農家への配布
- (6) 備蓄資材搬出に係る事務手続き
  - 迅速且つ柔軟な対応
- (7) 各資材活用による支援内容

### 3 令和6年能登半島地震被災地における 備蓄資材活用実績

#### (1) 地震の概要

発生日時：令和6年1月1日 16:10

場所：石川県能登地方

規模：マグニチュード 7.6

震源の深さ：16 km

震度：

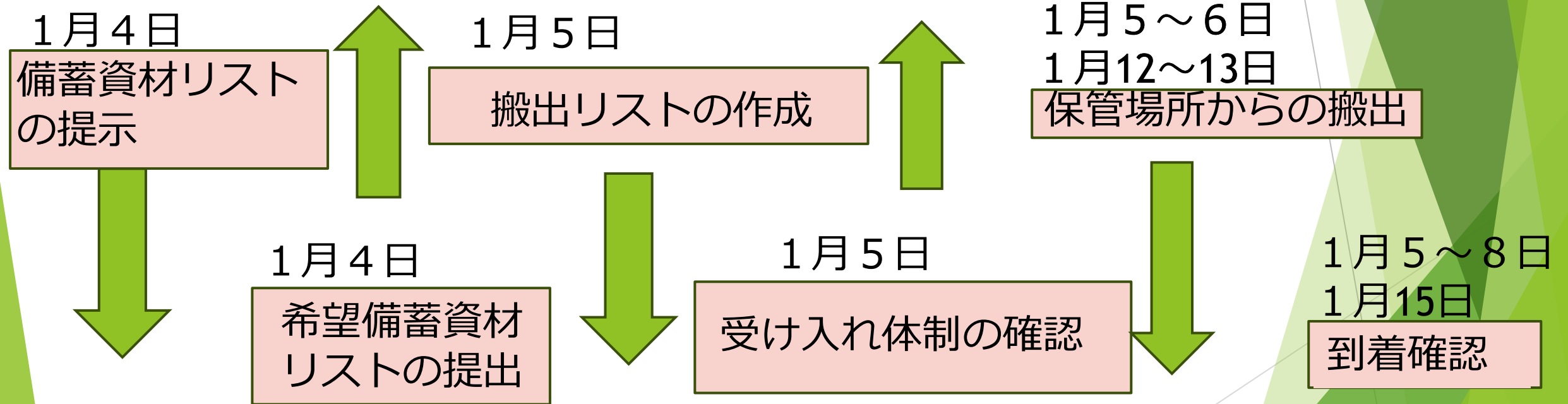
◎石川県	震度7	志賀町、輪島市
	震度6	七尾市、珠洲市、穴水町 中能登町、能登町
	震度5強	金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、 かほく市、能美市、宝達志水町
	震度5弱	白山市、津幡町、内灘町

(内閣府 防災情報のページより)

### 3 令和6年能登半島地震被災地における 備蓄資材活用実績

#### (2) 石川県との連絡調整：窓口の一本化・迅速な連絡

##### 農林水産省畜産局 畜産振興課（支援窓口）



石川県農林水産部畜産振興・防疫対策課振興グループ



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (3) 備蓄資材の搬出実績：全国10か所から一斉に搬出

令和6年1月 能登半島地震

発電機（50）、動力噴霧器（7）、投光器（24）、アルミラダー（7）、石灰散布機（1）、着替用テント（70）、トイレ用テント（42）、簡易トイレ（42）、手動噴霧器（70）、水タンク（49）、水槽（50）、緊急キット（21）、修理用工具（21）、ブルーシート（800）、トイレ用袋（2,400）、ガソリン缶（30）

### <保管場所>

家畜改良センター（十勝牧場、新冠牧場、奥羽牧場、岩手牧場、長野支場、岡崎牧場、兵庫牧場、鳥取牧場）宮城県、新潟県



### <受入拠点>

金沢家畜市場  
全農石川県本部穴水事務所

# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (3) 備蓄資材の搬出実績

< (独) 家畜改良センター鳥取牧場 (令和6年1月5日) 搬出 >



(写真提供 (独) 家畜改良センター)



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (3) 備蓄資材の搬出実績

＜ (独) 家畜改良センター長野支場 (令和6年1月6日) 搬出 ＞



(写真提供 (独) 家畜改良センター)



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (3) 備蓄資材の搬出実績

<宮城県（令和6年1月7日）搬出>



発電機、投光器



動力噴霧器



テント



水タンク  
(500L)



水槽



ブルーシート

24

(写真協力：宮城県)

# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

(4) 保管場所の対応：輸送手段の確保・迅速な搬出

農林水産省畜産局 畜産振興課  
畜産経営支援協議会（中央畜産会）

1月4日

保管場所への  
搬出資材リストの連絡



1月4～13日

輸送手段の手配

搬出予定の連絡

搬出作業



家畜改良センター

新潟県 農林水産部畜産課 下越家畜保健衛生所、畜産協会  
宮城県 農政部家畜防疫対策室 仙台家畜保健衛生所、畜産協会

# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (5) 受入側の対応：受入拠点の確保

- ・ 受け入れ場所の確保
  - 金沢家畜市場
  - 全農石川県本部穴水事務所
- ・ 取り下ろし手段の確保
- ・ 取り下ろし作業
- ・ 到着資材の確認
- ・ 取り下ろし場所から被災地への輸送手段の確保
- ・ 資材の受け入れ拠点を事前に想定していくことが重要



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## 5) 受入側の対応：迅速な農家への配布

＜全農石川県本部穴水事務所で受入れ後、各農家に配布＞



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (6) 備蓄資材搬出に係る事務手続き：迅速かつ柔軟な対応

被災地（石川県農林水産部畜産振興・防疫対策課振興グループ・北陸農政局）

- ・ 備蓄資材使用申請手続き
- ・ 資材の配布・使用状況確認、連絡

連絡調整窓口（農林水産省畜産局畜産振興課）  
（畜産経営支援協議会（中央畜産会 衛生指導部）

- ・ 備蓄資材使用許可手続き
- ・ 追加支援の要否確認
- ・ 備蓄資材搬出費用の支払い
- ・ 搬出資材の補充
- ・ 資材の活用状況確認
- ・ 今後の事業推進計画の策定

保管場所（家畜改良センター、新潟県農林水産部畜産課・下越家畜保健衛生所、  
宮城県農政部家畜防疫対策室・仙台家畜保健衛生所）

- ・ 備蓄資材搬出費用の請求
- ・ 機材のメンテナンス
- ・ 補充資材の受け入れ

# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (7) 各資材活用による支援内容

- ・ 発電機による電源確保
- ・ 動力噴霧器による給水補助
- ・ 投光器による照明確保
- ・ テントによる更衣場所確保
- ・ トイレ用テント、簡易トイレ、トイレ用袋による作業員、農家のトイレ確保
- ・ 水タンク・水槽による家畜の飲用水確保
- ・ ブルーシートによる施設の応急対応
- ・ ガソリン缶による燃料の運搬手段の確保



# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (7) 各資材活用による支援内容：水の供給



消防本部からの給水



畜産農家における  
水タンクへの給水



(写真協力：石川県農林水産部畜産振興・防疫対策課)

# 3 令和6年能登半島地震被災地における備蓄資材活用実績

## (7) 各資材活用による支援内容：畜産農家における給水



- 【大型水タンクによる家畜への給水】
- ・外部から水を調達し車両で運搬
  - ・牛舎への送水により給水

(写真協力：北陸農政局)



## 4 今後の事業推進に当たっての課題

### 《課題》

- (1) 事業の周知・活用促進  
迅速な支援のためには周知が必要
- (2) 備蓄資材の見直し  
電気と水の確保が最重要
- (3) 備蓄資材の補充  
搬出分についての補充が必要

## 4 今後の事業推進に当たっての課題

### (1) 事業の周知・活用促進：迅速な支援のためには周知が必要

#### 《周知方法》

- ・ 全国会議、ブロック会議等での説明
- ・ 畜産関連雑誌等への投稿
- ・ 生産現場の状況を把握している畜産団体等への  
チラシの配布
- ・ HPへの掲載、関連HPとのリンク

# 4 今後の事業推進に当たっての課題

## (2) 備蓄資材の見直し：電気戸水の確保が最重要

### 《今後の改善点》

- ・ 畜舎等で利用できる発電機の確保  
単相/三相兼用・大型
- ・ 燃料携行缶の増数  
発電機の2倍数必要（円滑な燃料交換のため）
- ・ 組み立て式貯水プール、水中ポンプ、ホース  
水の一層の確保



# 4 今後の事業推進に当たっての課題

## (3) 備蓄資材の補充：搬出分について補充必要

### <機材>

	搬出数	単位
発電機	50台	
動力噴霧器	7台	
投光器	24台	
アルミラダー	7台	
石灰散布機	1台	

### <資材>

	搬出数	単位
トイレ用テント	42張	
簡易トイレ	42個	
手動噴霧器	70個	
水タンク	49台	
水槽	50個	
緊急キット	21式	
修理用工具	21式	
ブルーシート	800枚	
トイレ用袋	2,400袋	
ガソリン缶	30台	

試算：<機材> 27,374,432円+ <資材> 16,083,159円 = 43,457,591円



## 5 まとめ（円滑な事業推進のポイント）

### 《ポイント》

- ・ 関係機関の連携・協力
- ・ 窓口の一本化
- ・ 迅速且つ正確な情報の連絡
- ・ 輸送手段の確保
- ・ 迅速な搬出
- ・ 受入拠点の確保
- ・ 迅速な農家への配布
- ・ 迅速且つ柔軟な対応

ご清聴ありがとうございました

質問や相談等ございましたら、  
（公社）中央畜産会へご連絡ください。